

令和2年9月25日(水)  
13:30から15:00  
新宿区立戸山小学校 体育館

## 低学年分科会提案

目指す児童像

運動遊びをすすんで楽しみ、基本的な動きを身に付けられる児童

仮説

毎時間同じ内容で準備運動・体の基本的な動きを行うことで体を動かす感覚が養えると考えた。運動を継続的に行うことでいろいろな運動感覚が養え、主体的に学べる目指す児童像に迫ることができるだろう。

1 単元名 体づくり運動遊び

2 授業学年 2学年

3 単元の目標

『知識及び運動』

- ・運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすることができるようにする。

『思考力、判断力、表現力』

- ・多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。

『主体的に学習に取り組む態度』

- ・運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

4 運動の特性

体づくりとは

低学年の体づくりの運動遊びは、「体ほぐしの運動遊び」及び「多様な動きをつくる運動遊び」で構成され、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、伸び伸びと体を動かしながら、様々な基本的な体の動きを身に付けることを主なねらいとする運動遊びである(新学習指導要領)

継続して学習することで、スムーズに動ける体を育成することや継続して自己の心身に関心をもち、健康や体力の向上を意図的に測れるようにする。(「体づくり運動」の基本 白旗和也 編著)

低学年としては、様々な動きを引き出して経験させることが一番大切であると考えた。体を動かすのが楽しいという思いをたくさん感じさせたい。低・中学年においては、発達の段階を踏まえると、体力を高めることを直接の目的とすることは難しい。しかし、将来的に体力を高めたり、技能を身に付けたりするためには、この頃から様々な体の基本的な動きを身に付けていくことが重要である。また、低学年の子供たちは思考と活動が未分化な時期にあり、考えるよりもまずは体を動かしてみようと運動に取り組む傾向にある。そこで、低学年分科会では、ある特定の運動をトレーニング的に繰り返し行うのではなく、子供たちが楽しみながら運動遊びに取り組み、結果的に基本的な動きを総合的に身に付けていくように授業を構成した。

神経系がもっとも発達する時期（5～8歳）の子供たちは、一つの動きを繰り返し練習するよりもいろいろな動きを経験し、感覚を味わい、自分の体がどのような状態になっているかが分かるようにしていくことが大切である。動きを総合的に身に付けるためには、一単位時間でたくさんの動きを経験した方がよいという考えから、「バランス」「移動」「用具」「力試し」の4つの運動内容のうち2つを1単位時間の中で組み合わせて4つの運動をバランスよく学習していけるようにした。また、1年生では、初めて出会う動きを楽しく経験し、体の基本的な動きの「レパートリー」を増やしていけるように動きを知る時間を多く設定した。2年生でも、流れの系統は1年生とは大きく変わらないが、1年生で身に付けたいろいろな動きを繰り返し行ったり、児童が工夫しながら動きの多様化を図ったりできるように、動きを広げる時間を多く設定した。夢中になって遊べる動きをたくさん経験させることで、動きの変化「バリエーション」に重点をおいて学習を進めてきた。

運動経験が少ない低学年児童にとっては、新しく出会った動きそのものが新鮮であり、楽しくもある。そこで、動きそのものもつ楽しさを明らかにし、指導に生かすことで、動きの楽しさを味わいながらのびのびと体の基本的な動きを身に付けることができると考えた。

○一般的特性

- ・さまざまな動きを意図的に育む運動遊びを通して、体の基本的な動きを総合的に身に付けることができる運動である。

○児童から見た特性

- ・自分の動きが広がったり、スムーズになったりしたときに楽しさを感じる運動である。
- ・友達のよい動きを見つけて取り入れたり、新しく動きを見つけたときに楽しさを感じる運動である。

## 5 児童の実態

昨年度の体育の研究で「感覚づくり」を毎時間、取り入れた。そのため動きの習得や高まりが見られた。(手にしっかりとって体を支える、軸ができるなど)感覚づくりが技の習得に繋がり、器械運動の技の技能が高まっている。技ができる喜びを感じ、積極的にできないことをできるように努力する姿が見られる。

○本単元にかかわる児童の実態（令和2年9月14日実施 回答数2年69名1年66名）

動き	回答（数字は人数）2年	回答（数字は人数）1年
・片足軸回り	できる 65人 できない4人	できる 50人 できない16人
・跳びながら回る	できる 68人 できない0人	できる 34人 できない32人

新一年生の実態を見てみると、2年生に比べ、上記の動きの習得が出来ていない児童が多い。出来ている児童でも、スムーズに動くことができないなど、課題も見られることが分かった。

《考察》

実態調査から入学前は経験不足の動きが多い。継続的に経験すると全児童ができるようになる。

## 6 研究主題に迫るための手立てと工夫

### (1) 年間を通して毎時間のはじめに準備運動・体づくりダンスの導入

毎時間同じ内容で準備運動・体の基本的な動きを行うことで体を動かす感覚が養えると考えた。同じ動きを繰り返すことで子ども達自身も覚え、動きに慣れ、さまざまな動きに活用できると考えた。低学年分科会では、昨年度行ったねこちゃん体操、くまさん歩き、かえるの足打ちなどの基礎感覚作りを毎時間取り入れたことを生かし、音楽に合わせた動きを児童と共に作った。家庭で音楽がなったらできるようにする。

#### 体づくりダンス ～スイミーダンス～

実態調査から明らかになった、経験不足の動きや身に付いていない動きを、音楽にのせて楽しく身に付けることができるように体づくりダンスを子ども達と考え作成した。国語「スイミー」の話を動きにして考えた。また、スポーツフェスティバルで発表し達成感を味合わせる。先日の保護者会で、家でもスイミーダンスを踊っていますという声が聞かれた。家庭でも体を動かすきっかけになるよう広めていきたい。

競争化やゲーム化することも、楽しく運動するという点では効果的なものの、動きが雑になるというこれまでの研究の課題がある。毎時間繰り返し行うことで、身に付けさせたい動きを着実に身に付けられると考えた。年間の後半は別の音楽で同じ動きを取り組んだり、向きを変えてやってみたり飽きがこないよう変化を入れて取り組んでいく。

#### ○体ほぐしの運動遊び

音楽に合わせて、リズムに乗って、心が弾むような動作

#### ○多様な動きをつくる運動遊び

体のバランスをとる運動遊び	体を移動する運動遊び	力試しの運動遊び
片足軸を軸にして回転 跳びあがって回る 座る・立つ 片足でバランスを保ちながら静止	前後左右 歩く 両足や片足でいろいろな跳び方で跳ぶ。 両足や片足で方向、高さを変えてはねる。 腰をひねらせて跳ぶ 側方倒立回転	腕立て伏せの姿勢から自己の体を支え、手や足を支点として回る。

### (2) 豊かにかかわらせるための指導の工夫

体育学習における児童のかかわり合いには、以下の様な段階があると考えた。

- ① 友達に目を向ける。(意識する)
- ② 友達のよさに気付く。
- ③ 友達のよさを伝える・自分のよさを知る。
- ④ グループのよさに気付く・伝える。
- ⑤ 互いのよさを生かす。

この中で、低学年では、まず①友達に目を向ける（意識する）ということが大切であると考えた。友達の動きを見て、自分の動きに取り入れたり、さらに発展させたり、また、言葉に置き換えたりすることにつながっていくと考えられる。そして、第2学年の段階では、③友達のよさを伝える・自分のよさを知るところまでねらって、以下の様な手だてを考えた。

### 学習過程の工夫

低学年の児童は自己中心的で集団としての関わりがまだ希薄である。コロナウィルス感染予防をしながらの体育の中でもみんなと合わせる、みんなで作り上げるなどの活動の中で人間関係を作り上げていけるように行った。毎時間のまとめとして、友達が工夫していたところ、良かったところを発表し合うことにより、友達への関心が高まると考えた。

### 教師の言葉掛け

学習全体を通して、友達の動きを意識させるように教師が継続して言葉掛けをしていく。

以上のような働きかけを継続することで、児童がより豊かにかかわり合いながら、共に学ぶ楽しさを味わい学習を進めていくことができる。

※1年生は同じような動き、2年生につながる動きをして3月の変容をみる。

学期	1学期				2学期						3学期		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1年	知る						楽しむ	知る		楽しむ	知る		楽しむ
	体を移動する運動遊び		体のバランスをとる運動遊び		体を移動する運動遊び			体のバランスをとる運動遊び			力試しの運動遊び		
	用具を操作する運動遊び【短なわ】		用具を操作する運動遊び【ボール】		用具を操作する運動遊び【長なわ】			用具を操作する運動遊び【ボール】			用具を操作する運動遊び【輪・竹馬】		

## 7 評価

	単元の評価規準	具体的なよさの現れ
知識・運動	<p>○多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知っている。</p> <p>○体のバランスをとったり、移動をしたり、用具を操作したり、力試しの動きをしたりしている。</p>	<p>① 多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知っている。【観察・記録動画】</p> <p>② 姿勢や方向、人数を変えて、バランスをとる動きができる。【観察・記録動画】</p> <p>③ 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、体を移動する動きができる。【観察・記録動画】</p> <p>④ 用具を操作する動きができる。【観察・記録動画】</p> <p>⑤ 力を出しきったり、力を入れたり、緩めたりする動きができる。【観察・記録動画】</p>
思考力・判断力・表現力	<p>○多様な動きをつくる遊び方を工夫している。</p> <p>○友達のよい動きを見付けたり、工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。</p>	<p>① できそうな運動遊びや、友達と一緒にいと楽しい運動遊びを選んだり、運動遊びをする場や使用する用具を変えながら、楽しくできる遊び方を選んだりしている。【観察・発言・学習カード】</p> <p>② 多様な動きをつくる運動遊びで友達の動きを見てよい動きを見付けたり、楽しい運動遊びの行い方を選んだりしたことを友達に伝えている。【観察・発言・学習カード】</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>○運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場の安全に気を付けたりしようとしている。</p>	<p>① 運動に進んで取り組もうとしている。【観察】</p> <p>② 順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。【観察】</p> <p>③ 用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。【観察】</p> <p>④ 友達の考えや取り組みを認めようとしている。【観察】</p> <p>⑤ 危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。【観察】</p>



